錯イオン

錯イオン さくいおん

　電荷をもつ錯体で、その塩は狭義の錯塩（電解質錯体）である。たとえば〔Ｃｏ（ＮＨ３）６〕ＣＩ３中の＋３価の〔Ｃｏ（ＮＨ３）６〕は錯陽イオンであり、Ｋ２〔ＰｔＣＩ４〕中の−２価の〔ＰｔＣＩ４〕は錯陰イオンである。溶液中ではこれらの錯体はそれぞれの錯イオンに解離して存在する。金属塩の水溶液では金属イオンは通常アクア錯体として存在する。たとえばＮｉＳＯ４・７Ｈ２Ｏの水溶液は＋２価の〔Ｎｉ（Ｈ２Ｏ）６〕（ヘキサアクアニッケル（＋２価イオン）を含んでいる。

＜登録年月＞
1998年01月